

応援しよう！ 狛江の国体

東京NO.1

いよいよ今年の9月に開催が迫ったスポーツ祭東京2013(第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会以下「国体」)は東京では54年ぶり3回目の開催で、狛江市での開催は初となります。

全国から狛江市を訪れる多くの方々を温かくおもてなしするための取り組みについて紹介します。

○会場内外の装飾

昨年8月に開催された「第67回国民体育大会バレーボール競技関東ブロック大会」では、市内小中学校の協力を得

○競技会場での売店出店

国体に参加する選手・監督、役員等の関係者や一般観客の便宜を図るため競技会場となる狛江市民総合体育館敷地内



▶昨年の装飾の様子

に臨時の売店を出店します。当日は国体関連グッズやスポーツ用品、飲食物等の販売を予定しています。また、競技会場近くの緑野小学校校庭では、狛江市・東大和市・武蔵村山市の3市のグルメが堪能できる「多摩3市うまいも

のフェア」が開催される予定です。

です。
○狛江の特産物でふるまい
狛江の良さを知っていたただため、狛江産枝豆を使った「枝豆アイス」を9月29日・30日に合計1,000食を無料配布します。
高校生の力強い迫力ある熱い戦いを間近で応援し、「枝豆アイス」で熱戦の余韻に浸りませんか？

なお、第68回国民体育大会狛江市実行委員会のホームページ(<http://www.konae-nokutai2013.jp/>)ではその他の取り組みの様子やボランティアを始め各種事業募集のご案内をしています。ぜひご覧ください。

【問い合わせ】
社会教育課国体推進担当

平成24年度 第4回 「東京駅伝」大会

平成25年3月20日(祝)、味の素スタジアム・武蔵野の森公園特設周回コースで、第4回中学生「東京駅伝」大会が開催されました。

今年度は、都内23区・26市・1町と宮城県南三陸町の合計51チームが出場し、中学校2年生から選ばれた代表選手(男子17人、女子16人)が襷をつなぎました。

狛江市からは、市内の中学校4校から選ばれた代表生徒42人(大会出場選手33人・補員9人)が、大会へ向けて、合同練習会や各学校での練習会等を積み重ねて大会に臨みました。大会当日は、チーム狛江のスローガン「代表の責任と誇りを胸に全力を出しきり走る」の言葉どおり、チーム一丸となった走りを見せ、昨年の記録を大きく上回るこ



【問い合わせ】 指導室

とができました。女子の部(30km)は12位(平成23年度は28位)。男子の部(42・19.5km)は26位(同29位)、男女総合では20位(同27位)。女子個人記録では、宗公美さん(狛江第二中学校)が8位入賞。男女総合タイムは、昨年よりも9分以上縮めることとなり、関係者・保護者・当口控えとして出場選手をサポートしてくれた代表生徒等全員に、感動と勇気を与えてくれました。

狛江第二中学校プールの一般開放



【期間】平成25年8月7日(水)～13日(火)
【時間】午前9時30分～午後5時30分
【料金】2時間あたり200円
(高校生以下は100円)
※未就学児は、付き添いの方がいないと入場できません。
※天候等により中止になることがあります。

【問い合わせ】社会教育課社会教育係



図書館図書サービス係

機会も多くなりがちです。しかし、まだ経験が少なく、たくさんの中から自分自身に合う本を探し出すことは簡単ではありません。その中で、家族、先生、学校司書、図書館員と一緒に本を選ぶ経験を積むことは、これからの読書活動を豊かにします。また、自分で選んだ本が自宅の本棚にあることは、そのときの楽しい経験を思い起こさせるものでしょう。

平成25年度から、小学校へ入学する全ての児童に本を一冊贈る「セカンドブック事業」を実施しています。この事業は、子ども自身が「本を選ぶ楽しさ」「読む楽しさ」を知るきっかけをつくることで、自発的な読書につながることを目的としています。

司書がおすすめる12冊の本の中から一冊を親子で一緒に選んでもらい、その一冊を贈ります。この機会にぜひご家庭で本について話題にしてみてください。また、今回選ばなかった本も、図書館などで一度読んでみてください。

小学生になると、「自分で読めるから」と読み聞かせをしなくなったり、本選びも子どもだけで行う

セカンドブック事業

